

「ほかにない」が、ここにある。

北海道大学 大学院文学研究科・文学部

<http://www.let.hokudai.ac.jp/>



学生の知的探究心を支える100名を超える充実の教員

大学院文学研究科

学際色豊かな4専攻19専修

思想文化学専攻

哲学倫理学専修
宗教学インド哲学専修
芸術学専修

歴史地域文化学専攻

日本史学専修
東洋史学専修
西洋史学専修
歴史文化論専修
北方文化論専修
スラブ社会文化論専修

言語文学専攻

西洋文学専修
言語科学専修
日本語科学専修
日本文化論専修
中国文化論専修
映像・表現文化論専修

人間システム科学専攻

心理システム科学専修
行動システム科学専修
社会システム科学専修
地域システム科学専修

文学部

多彩な9コース
「知りたい」好奇心を受け止める

哲学・文化学コース
歴史学・人類学コース
言語・文学コース
人間システム科学コース
日本文化論コース
アジア・アラブ文化論コース
ヨーロッパ・アメリカ文化論コース
北方文化論コース
総合文化論コース

SAPPORO INTERNATIONAL ART FESTIVAL 2014 | 連携事業
札幌国際芸術祭2014

北大文学研究科の フィールドワーク

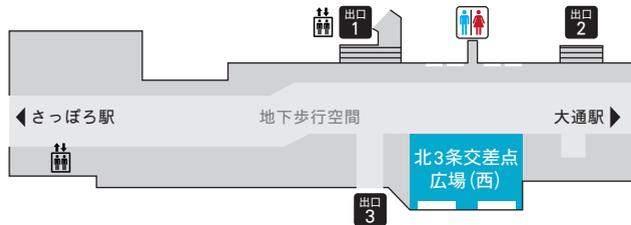


フィールドワーク (Fieldwork)とは、
「研究者自身が現場に行き、
研究の対象を見て、
聞いて、
角を立て、
資料や情報を集める
調査の方法です。」

2014年
8月6日(水)
札幌駅前通地下歩行空間
北3条交差点広場(西)
参加費無料

北大文学研究科の フィールドワーク

【会場】札幌駅前通地下歩行空間 北3条交差点広場(西)
事前申込不要。当日直接会場にお越しください。



【北大文学カフェとは】

北大文学カフェは、北海道大学大学院文学研究科の研究者と、飲み物を片手に気軽に語り合うイベントです。内容は哲学、歴史学、文学、社会学、心理学などさまざま。人文学・人文科学研究の楽しい話題を通して、みなさんと北大文学研究科との交流を深めていくことを目指しています。

【連絡先】

北海道大学大学院文学研究科
研究推進室
TEL : 011-706-4083
E-mail : kenkyu@let.hokudai.ac.jp

人文学カフェウェブサイト
<http://www.let.hokudai.ac.jp/research/cafe/>

12:00~16:00

企画展示

研究者は世界を駆ける

18:15~19:45

第14回北大文学カフェ

南の島から世界を描く
フィールドワーク的思考のススメ

企画展示

12:00～16:00



研究者は世界を駆ける

フィールドワークとは、研究者自身が現場に行き、研究の対象を見て、聞いて、触って、資料や情報を集める調査の方法です。

8月6日、札幌の地下歩行空間にフィールドワークの世界が出現します。世界を駆けめぐる北大文学研究科の5名のフィールドワーカーが、調査に欠かせないフィールドワークの“七つ道具”や、集めた資料を紹介します。ぜひこの機会に、みなさんも、見て、聞いて、触れて、フィールドワークの世界を“フィールドワークして”ください。

展示ラインナップ

縄文の世界

縄文エコミュージアムへようこそ

北海道噴火湾北岸で人類遺跡を発掘します。「遺跡が教室だ！」
小杉 康さん [考古学、物質文化論]

動物の世界

人と野生動物のかかわりを探る

屋久島やシベリアで地域住民とともに野生動物を追いかけています。
立澤 史郎さん [保全生態学、環境教育論、シベリア地域研究]

北方の世界

北方スタイル～シベリア先住民アートの世界～

シベリア先住民のこぼと文化にあらわれる豊かな世界を紹介します。
北方研究教育センター 津曲 敏郎さん [言語学、北方諸言語]
永山 ゆかりさん [言語学、古アジア諸語]

宗教の世界

世界の巡礼グッズ

西アジアを中心に、世界中の聖地や巡礼地をめぐるアイテム。
守川 知子さん [東洋史学、イラン・イスラーム社会史]



縄文



動物



北方



宗教

人文学Café

第14回
北大人文学カフェ

18:15～19:45

南の島から世界を描く

フィールドワーク的思考のススメ



太平洋の中に、ソロモン諸島という小さな島国があります。熱帯林豊かなこの島国は、多くの人々が自給自足に近い生活を送っている国であると同時に、民族紛争も経験し、また、グローバル化の波にもまれている国でもあります。南の島は、世界の縮図でもあり、私たちの鏡でもあるのです。

人と自然の関係はどうあるべきなのか。人びとは何に困り、何に喜んでいるのか。そうしたことは、現地に足を運び、話を聞いたり、観察したりすることでわかってきます。こうした研究の方法をフィールドワークと言いますが、この方法のおもしろさや難しさについては、案外よく知られていません。現地に行きさえすれば何かが見えてくるというわけではありません。そもそも現場で何かが見えてくるとはどういうことなのか。その「発見」のおもしろさをお伝えしたいと思います。

話し手

宮内 泰介 (みやうち たいすけ) さん

北海道大学大学院文学研究科 教授 / 環境社会学

東京大学文学部卒、同大学院社会学研究科単位取得退学、福井県立大学助教授、北海道大学准教授を経て現職。著書に『開発と生活戦略の民族誌』（新曜社）、『グループディスカッションで学ぶ社会学ワークブック』（三省堂）、『なぜ環境保全はうまくいかないのか』（編著・新泉社）、『かつお節と日本人』（共著・岩波書店）など多数。

